



News Letter

みんなの まちづくり

第20号 / 2004. 8. 16

発行 明姫幹線南地区まちづくり協議会
事務局 高砂市役所都市整備部計画課

厳しい社会経済情勢と市の財政事情のひっ迫から、
面整備事業の推進は「ひとやすみ」————→ こんな時こそ、

**「協定」をしっかりと守り、私たちのまちの環境
保全のため積極的な活動を！！**

早いもので、まちづくり協議会の設立から3年が過ぎました。この間、市街
化区域編入等について、検討を重ねてきました。

特に昨年は、「まちづくり協定」を策定し、徐々にまちづくりの成果も出てい
るところです。

本来は、次の段階として、具体的に目に見える事業を推進すべきところですが、
それにはどうしても、地権者の意欲や負担の他に、行政の資金投入が必要
になります。しかし高砂市の財政状況は周知の通り、非常事態を迎えており、
当地区に投資できるのは極めて困難な状況にあります。また、低迷する日本の
経済状況からも、今は「じっくりガマンの時」であると思われま

そこで、役員会で議論を重ね、「**今後
しばらくは、大がかりな道路整備等の
計画の推進は休止し、協定をしっかりと
守ることで、この間の環境悪化をくい
止めよう！**」との判断に至りました。

また、このためには、行政任せでなく
当まちづくり協議会会員の結束と積
極的な協定の運営・管理活動が不可欠であるため、協議会に次頁にある「部会」
をつくって活動を推進したいと考えています。

“**住民参加・住民主体のまちづくり**”、引き続き皆さまのご協力をお願いいた
します。



平成16年度 第1回 役員会の様子

部 会について

- **環境管理部会**：協定違反物件がないように、定期的にパトロールし、もしあった場合は、違反者に改善をお願いします。
- **広報部会**：当協議会の地区内の関連団体等の活動情報を収集、取材します。また当協議会の活動のPRも行います。

6月28日の役員会にて、各部会のメンバーが以下のように決まりました。

	代表	副代表	部会員	
環境管理部会	柴田 勝	木谷 博雅	柴田 秀勝	田中 泰三
			北野 明	高谷 照男
広報部会	山本 洋一	加茂 峯生	宮宅 勇二	青木 栄蔵
			田中 静代	南 達男

環境管理部会 代表からひとこと

かつては美しい田園地帯であった明姫幹線南地区の、無秩序な土地利用によるさらなる環境悪化を防ぐため、「まちづくり協定」が締結されました。この「まちづくり協定」を我々みんなですべて守っていかなければなりません。そこで、まちづくり協議会の環境管理部会で、地区内のパトロールを行い、協定で目指している「緑豊かで住みよいまちづくり」を推進するため努力していきたいと考えております。皆様のご協力をお願いします。

環境管理部会 代表 柴田 勝

広報部会 代表からひとこと

高砂市最後の聖地である明姫幹線南地区の無秩序な開発に歯止めをかけるため、平成8年の市によるアンケート調査実施以来、長い年月をかけ議論してきました。そして昨年市との「まちづくり協定」を締結するに至りました。

広報部会では広報紙「みんなのまちづくり」を通じて地権者、地元住民の理解と協力を得ながら、緑豊かな美しく住みよいまちづくりを目指して取組んでいく予定です。

環境管理部会 代表 山本 洋一

- ★ 役員以外の方で、緑化知識・技術の豊富な方、建築士等の資格をお持ちの方、ニュースの編集や記事・イラストを書くのが得意な方、是非ご協力頂きますようお願いいたします。連絡は事務局までお願いいたします。

事務局からのお知らせ

①まちづくり協定に沿った、届け出等の状況

6月末時点で、まちづくり協定に沿った届出は3件、まちづくり協定に関する相談については、5件ありました。

相談の内容としましては、「**建築物の用途について、協定の別表1の基準を満たしていれば、都市計画法等の市街化調整区域に建てられる条件に係わり無く建築可能かどうか**」というものがほとんどでした。これについては、「**都市計画法等の市街化調整区域に建てられる条件を満たさなければ、建築は不可能**」ということになります。市街化調整区域に建てられる条件を満たしたうえで、「まちの将来像：緑豊かで美しく住みよいまち」に近づくため、さらに協定の別表1の基準を満たしてもらいたいというのが、協定の内容です。

②今後の取組みについて

4月23日の役員会において、平成16年度の当協議会の事業計画、予算を以下のとおり決定いたしました。皆様よろしくご協力いただきますようお願いいたします。

●平成16年度事業計画

- 1 まちの将来像実現のための取組み
 - ・地区計画等推進モデル地区の設定と具体計画の検討
 - ・市街化調整区域にふさわしいまちづくりの検討
 - ・会員の意向集約
- 2 まちづくり協議会活動
 - ・役員会の開催
 - ・広報活動：「みんなのまちづくり」の発行
 - ・学習会、地区別懇談会等の開催
 - ・行政および関係団体との連携・調整
- 3 その他、まちづくり協議会の目的達成のために必要なこと

●平成16年度 収支予算

収入額	444,000円
支出額	444,000円

なお平成15年度活動報告、決算報告は満場一致で承認されました。

●平成15年度 収支決算

収入額	742,785円
支出額	742,785円

(※) 予算・決算の詳細な内訳については、事務局までお問合せください。

③担当職員交替

長年にわたり、当協議会の事務局の中心であった山脇弘之が財政課に異動しました。代わって、建築指導課から山口里美が着任しました。

明姫幹線南地区への思いは、いつまでも！！

私は、平成 11 年 4 月に下水道部から異動してきて以来、平成 16 年 3 月まで丸 5 年間、都市整備部計画課に在籍しておりました。思い起こせば、平成 11 年 7 月に平成 8 年実施のアンケート調査の説明会を行なって、まちづくりの学習会が始まりました。その後、地元の皆様のご協力を得て「まちづくりを考える会」さらには、「明姫幹線南地区まちづくり協議会」設立へと発展し、高砂市内では初めての住民との参画と協働によるまちづくりの取り組みであったと想います。

平成 15 年 8 月には 1 番の成果であり、この地区の目標となる将来像を謳った「まちづくり協定」が締結され、うれしく思っております。ただ、目に見える形としての事業や「まちづくり条例」の制定まで出来なかったことに、力不足であったと悔やまれるところもありますが、柴田会長を始め、役員の方々、一般の地権者の方々とふれあいご指導を賜る中で、貴重な経験と勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

ここで皆さんと一緒に蒔いた種が、将来枯れてしまうのか、大きく育っていくのか、10 年後、20 年後、いや 50 年後この地区がどのように変化していくのか楽しみです。私は、この度企画部財政課に異動となりましたが、この明姫幹線南地区に対して陰から見守り、また、何らかの形で協力できればと考えております。

最後になりましたが、樋口さんここまで来れたのもやはり貴方のおかげです。ありがとうございました。そして、これからもよろしく願いいたします。

平成 16 年 5 月 26 日

山脇 弘之

はじめまして！！

山脇さんの後を引き継ぐこととなりました、山口と申します。若輩者ですが、皆さまのまちづくりを、一緒に悩み、考え、お手伝いできる様、努力していきたいと思っております。至らない点があるかと思いますが、ご指導賜りますよう宜しくお願いいたします。

山口 里美

協議会の運営やまちづくりに関するご質問は、各地区役員及び事務局に遠慮なくお問い合わせ下さい。

発行：明姫幹線南地区まちづくり協議会

事務局：高砂市都市整備部計画課 TEL：0794-43-9033

FAX：0794-43-9091

e-mail:tact3810@city.takasago.hyogo.jp